

ふじさわ女性デジタル事務人材活躍推進事業【神奈川県藤沢市】

個別事業費	4, 989 千円
交付金額	3, 742 千円

地域の実情と課題

本市は製造業が基幹であるが、高齢化と労働人口減少が進行している。人口は増加傾向だが、生産年齢人口は減少していく見込みである。市内の女性の労働力率は全国平均より低く、特に30歳以降が低くなっている。本市の調査では女性の約7割が家庭と仕事の両立を望んでいるが、実現できていないのが現状である。女性の潜在力をいかに活用できるかが本市の課題の一つとなっている。

事業の特徴

実践セミナーでは、実践的なITスキルを習得させるため、自習会を含め計9回開催し、受講者のスキルの向上と定着を実現した。また、就労支援施策として、セミナーの受講前後においてキャリアコンサルティングの体制を整備したほか、ハローワーク藤沢等と連携して実施した就職面接会に参加誘導するなどスキルの習得のみならず、受講者に寄り添った継続的な就労支援を行った。セミナー終了後に開催した就職面接会は、就職マッチング率向上のため2部制とし、1部では参加企業を知ってもらう機会として、参加企業によるPRタイムを設け、2部ではセミナー受講者が自由に企業ブースで面談、面接を行える方式とし、受講者の意欲を高め、効果的な就職マッチング支援につなげた。

事業の効果

参加したセミナー受講者のITスキルの向上が図られ、習得したITスキルを活かして効果的な就職活動に結びつけた。また、藤沢商工会議所会員企業をはじめとした人材不足に悩む市内企業に対し、ITスキルを習得した向上意欲の高いセミナー受講者との就職面接会を開催したことで、企業の人材不足解消と本市における女性の潜在的な労働力の掘り起こしに寄与した。セミナー参加者のうち、3人が転職・就職した。

目的・目標

本市の課題から、多くの女性が付加価値の高いITスキルを身につけ、在宅ワーク等様々な働き方を実現し、仕事と家庭の両立が可能な魅力あるまちづくりに繋げることを目的に本事業を実施した。
令和7年度の目標として、セミナー総参加者数100人、就職・転職した受講者数5人という目標を設定した。結果、セミナー総参加者数200人、転職・就職した受講者数3人となった。

連携団体

藤沢商工会議所、就労支援事業者、職業紹介事業者、ハローワーク藤沢との連携により、セミナー受講者と市内企業との就職マッチング支援を行うことで、市内企業と多様な働き方を実現したい受講者の双方に効果的となるよう企画運営を行い、セミナー受講者と藤沢商工会議所会員企業との就職面接会を開催した。藤沢商工会議所の会報誌やハローワーク藤沢ホームページでの事業周知などに加え個別に企業の開拓を行い、参加企業の充実を図った。また、ハローワーク藤沢による求人票作成のアドバイスなど、豊富な知見、様々な角度から就職マッチング支援策を講じた。

今後の課題

- ・セミナーの終了が2月末であったため、セミナー終了後に行う就労のためのフォローアップ期間が十分に確保できなかった。
- ・実践セミナー終了後に行った受講者と市内企業との就職面接会において、受講者側の大半が正社員でフルタイムを希望していたが、企業側の求人情報はパートタイムが多かった等、雇用形態や労働条件が求職側と求人側でマッチしていなかった部分があり、効果的な就職マッチングに至らなかったケースが確認できた。

ふじさわ女性デジタル事務人材活躍推進事業

女性のITスキルの習得と就職までを一体的に支援するパッケージ型セミナー「ふじさわ女性デジタル事務人材活躍推進事業」を実施。

対象

藤沢市内在住・在勤で
求職中もしくは就職活
動中でExcelの実務経
験がある方



就労支援事業者

プレセミナー(6/14実施)

事業の詳細について、DX時代に求められているITスキルとは何なのか、プログラミングができなくてもIT化が進む社会の中で女性が活躍できるITスキルの学習方法をコンセプトとしたセミナーを開催

実践セミナー(10/25~11/29実施)

プログラミングの基礎・モダンExcelの2ステップの学習で、Excelの面倒な作業を自動化する実践的なITスキルを習得させるための対面、オンラインセミナー及びセミナー間のオンライン自習会を約1か月のスケジュールで計9回開催

キャリアコンサルティング

セミナーで学んだことを就職活動に生かすため、セミナー受講者に対して、キャリアコンサルタントによる個別の就労相談を実施

藤沢商工会議所・
就労支援事業者・
職業紹介事業者・
ハローワーク藤沢

就職面接会

実践セミナーの受講者限定で
就職面接会を開催

就職